

ダンス・歌で肯定感高める

松本秀峰 表現教育プログラム開始



松本市埋橋2の松本秀峰中等教育学校で27日、海外の人にダンスや歌を教わって一緒に

ショーを作り上げる米国籍の表現教育プログラムが3日間の日程が始まった。自己表現

を楽しみ、自己肯定感を高める目的があり、1〜3年生約230人が参加した。

米国や南アフリカなど10カ国の「キャスト」と呼ばれる10〜20代の31人が冒頭、ダイナミックなダンスと歌を披露した。キャストは大学で教育学を習得した人やダンスを専門とする人などで、オーディションで選ばれて世界各国を回っており、迫力あるパフォーマンスに生徒は拍手と歓声で応じた。

最終日に披露する「エンターテイナーショー」に向け、生徒たちは言葉の壁を越えてキャストと交流し、楽しいと話していた。表現教育活動を行う米国の非営利団体・ハートグローバルが米国

を招致して運営しており、県内では初めての実施となった。

(田中千絵)

や欧州で音楽出張授業などを行っている。日本では平成18(2006)年からNPO法人

パワーあふれるダンスを披露するキャストと交流する生徒たち